

2023年2月28日
社会福祉法人障友会

新型コロナウイルス感染症（第8波）のご報告

日本で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されて3年が経過しました。昨年夏の第7波に続き、この年末年始はまたもや新型コロナウイルス感染症の第8波が猛威を振るいました。

障友会においては、12月中旬にまずフレンズでクラスターが発生し、ご利用者3名と職員5名が感染しました。この間フレンズは19日から約1週間休所させていただき、ご利用者が多く住んでおられるグループホームあいあいにて療養対応しました。この間グループホームの世話人さんも複数の陽性者が出たため、療養対応においては法人内各事業所の応援で職員が2人一組で3チームを編成し、最後の陽性者が療養明けになるまで24時間対応いたしました。

次に、年末29日に堺みなみでご利用者の感染が始まり4名の方が陽性、正月休みの間グループホームわろうだで療養対応としました。また正月明けの1月10日に別の女性のご利用者2名が感染し、感染が複数のグループホームにわたったためご利用者がお住いの宮山台ホームに陽性の方を集めて他の方をなんてんに移動いただき、療養対応させていただきました。堺みなみは11日～14日まで通所自粛とさせていただきました。

しかしそれもつかの間の1月17日には新たに男性のご利用者が2名感染したため、今度は本部のあるかぎろひやつむぎの建物を療養場所としました。この間、つむぎのご利用者さんには約10日間明らかに移動いただき対応しました。つむぎの皆さんには大変ご不便をおかけしました。

堺みなみは再び1月18日から23日まで通所自粛させていただき、ようやく24日から再開することができました。この間、ご利用者並びにご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力をいただきましたこと改めてお礼申し上げます。

今回も管理職・管理者を含む職員が法人を上げて対応し、非常勤職員や世話人の方にも多くの協力を得て乗り切ることができました。陽性者対応のため自らも感染した職員も複数名になります。対応いただいた職員の方々には改めて感謝の意を表します。また、昨年夏の第7波においてはショートステイを療養場所としたためにショートがその間利用できずご迷惑をおかけしましたが、今回はグループホームや通所事業所等での療養を何とか工夫し、ショートステイの運営を続けることができました。なお、1月6日と30日には計80名を超えるご利用者に5回目のコロナワクチン集団接種を実施しました。

これからも引き続き、感染防止のための努力を続けてまいります。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。